

## 日本政府主催によるグローバルファンド主要会合の開催決定

2015年3月16日

東京－日本政府は本日、グローバルファンドの増資準備会合を2015年12月に主催することを発表しました。この準備会合は、エイズ、結核、マラリアの克服を目標にした3年間の資金調達期間における重要な位置付けとなっています。

増資準備会合は、2015年12月17日に東京で開催され、これまでのグローバルファンドによる支援の成果と、三大感染症の終結に向けた取り組みを加速化するために今後3年間の資金需要に関する情報が、政府及び関係機関等と共有されます。次回の増資会合は、2016年半ばに開催される予定です。

また、この会合は、政府、市民社会、民間セクター、国際機関の代表者が、グローバルファンドと共に、三大感染症の克服するための革新的な取り組みについて意見を交換する場でもあります。アジアで準備会合が開催されるのは、今回が初めてとなります。

国連創設70周年記念シンポジウムで、安倍首相は、グローバルファンドに対する日本政府の支援について語り、「エイズ、マラリア、結核という三大感染症撲滅を目指した、グローバル・ファンドの発足と、発展に、日本は邁進しました。今年も日本は、ファンドに1億9000万ドルを拠出し、12月には東京で、ファンドの未来を語り合う会議を開きます。」と述べました。

グローバルファンドのマーク・ダイブル事務局長は、同基金に対する信任の象徴である日本の拠出に対して謝意の表明しました。

「日本は、グローバルファンドの設立時から資金と知的両面で揺るぎなき支援国です。」とダイブル事務局長は述べました。「三大感染症の克服とユニバーサル・ヘルス・カバレッジの推進に対する安倍首相のコミットメントは、まさに国際保健におけるリーダーシップの象徴です。」

日本はグローバルファンドに対する第5位の主要ドナー国です。日本が議長国を務めたG8九州沖縄サミットで感染症対策が主要課題となったことが、グローバルファンド設立の発端になりました。それ以降、そして2002年にファンドが正式に設立されて以来、日本とグローバルファンドは密接な協力関係にあります。

前回の増資準備会合は2013年5月にブリュッセルで開催され、その後の2013年12月のワシントンDCでの第4次増資会合では各国から総額120億米ドルが誓約されました。

出典：首相官邸ホームページ

([http://www.kantei.go.jp/jp/97\\_abe/statement/2015/0316speech.html](http://www.kantei.go.jp/jp/97_abe/statement/2015/0316speech.html))

#####

グローバルファンドは、エイズ・結核・マラリアの克服を加速するために設立された 21 世紀型の組織です。

官民パートナーシップによって成り立つグローバルファンドは、政府、市民社会、民間セクター、感染症当事者コミュニティ等とともに毎年約 40 億米ドルを集め、140 カ国で国内専門家等が計画実施する三大感染症対策事業に資金供与しています。障壁を乗り越え、革新的手法を取り入れて、政府及び関係機関等パートナーたちと三大感染症の克服を目指しています。

お問い合わせ先

**Nick Lucchinelli**

携帯: +41 79 734 4878

Eメール: [Nick.lucchinelli@theglobalfund.org](mailto:Nick.lucchinelli@theglobalfund.org)

グローバルファンドの事業活動についての詳細はウェブサイトをご覧ください:

[www.theglobalfund.org](http://www.theglobalfund.org)

ツイッターでグローバルファンドをフォロー: <http://twitter.com/globalfund>

フェイスブックでグローバルファンドの登録者: <http://www.facebook.com/theglobalfund>